特別活動　「行事」について

1　学校行事の活動内容

学習指導要領で学校行事として示している５種類の行事から、「儀式的行事」、「学芸的行事」及び「健康安全・体育的行事」の３種類の行事を例として取り上げる。

（1）「儀式的行事」に関すること

この項目に関する諸活動は、学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な　気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けを行う上で重要な役割をになうものであり、具体的な活動としては、次のような例が考えられる。

【具体的な活動例】

○入学式　○卒業式　○開校記念日における儀式　○始業式　○終業式 ○対面式　○朝会　など

このような儀式的行事を実施する際には、厳粛な雰囲気を保つようにするとともに、生徒が相互に祝い、励まし、喜びを分かち合うことによって、集団や社会の一員としての連帯感を育て、学校生活がより有意義なものになるよう配慮することが大切である。また、国旗・国歌については、学習指導要領に定められている儀式的行事の意長々ねらいを十分に踏まえ、その実施内容をより適切なものとすることが大切である。

（2）「学芸的行事」に関すること

この項目に関する諸活動は、平素の学習活動の成果を総合的に生かし、その向上の意欲を一肩高めさせるとともに、調和のとれ九豊かな人間性を育成する上で重要な役割をになうものであり、具体的な活動としては、次のような例が考えられる。

【具体的な活動例】

○文化祭（学校祭）　○音楽会（合唱祭）　○弁論大会　○講演会 ○各種の発表会（展覧会など）　○映画や演劇鑑賞

このような学芸的行事を実施する際には、生徒の自発的な創意工夫を生かしながら学習活動の成果を発表し、相互の努力を認め合い、協力して活動を展開するように援助する。同時に、生徒がそれぞれ自己の成長の跡を振り返り、さらに自己を一屈伸長させようとする向上の意欲を高めるように指導することが大切である。

（3）「健康安全・体育的行事」に関すること

この項目に関する諸活動は、心身の健全な発追々健康の保持増進などについての理解を深め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などを図る上で重要な役割を果九才ものであり、具体的な活動としては、次のような例が考えられる。

【具体的な活動例】

○健康診断　○疾病予防　○交通安全を含む安全指導　○避難訓練 ○防災訓練　○健康・安全に関する意識や実践意欲を高める行事 ○薬物乱用防止指導　○体育祭（運動会）　○各種の球技大会や競技会

これらの行事の中には、学校保健法等の規定に従って実施されるものもあるが、それぞれのねらいを明確にし、教育的な価値を十分に生かすよう配慮することが大切である。

２　指導・評価計画

(1)「儀式的行事」に関する指導・評価計画を卒業式を例にして考える

行　事　名　｜　卒業式

１　行事の目標

生徒に厳粛で清新な気分を味わわせ、卒業後の新しい生活の展開への動機付けとする。

Ｈ　到達目標

１　中学生活を振り返ることにより、学校・家庭・地域社会に対して感謝の気持ちを抱かせる。
２　中学生活における喜びや苦労を共にした友との連帯感を深め、本校を卒業することに誇りを持たせる。
３　厳粛な式の進行の中で国民としての自覚を高めるとともに、広く国際理解や人類愛の精神を育てる。

Ⅲ　担当分掌及び全体計画

１　担当分掌

主担当は総務部、会場及び警護は生徒指導部、受付・接待は教務部、救護・清掃は保健厚生部、卒業生対応は担当学年がそれぞれ行う。

２　業務推進計画

・１２月　上旬　　卒業式実施要領（概要）決定　　中旬　　学年集会、卒業記念品発注
・　１月　下旬　　卒業式について学級指導、卒業生の保護者あて文書（案内状）の送付、卒業生代表選出、答辞作成
・　２月　上旬　　卒業式実施要領（紬案・業務分担）決定、来賓及び旧職員あて案内状の送付、学事報告作成、式辞作成
・　２月　下旬　　卒業生台帳作成、証書・目録等の確認、・祝電整理
・　２月最終日　　式場設営、卒業式予行、在校生徒への指導
・　３月　１５日　　卒業証書授与式、終了後のアンケート回収（PTA 役員・学校評議員・教員など）
・　３月　下旬　　アンケートの取りまとめ

Ⅳ　展開

	内　　容	指導上の配慮事項等	評価に関する配慮事項等
事前	・　前年度の反省を踏まえた実施計画立案 ・　事務的な業務の確実な推進 ・　卒業式の意義の理解を図る指導 ・　式場設営卒業式予行 ・　礼法指導 ・　卒業証書授与練習 ・　歌唱指導特設ホームルーム	・　３年間の総まとめの行事として、感動的で厳　粛なものとするために、卒業式にのぞむ望ましい態度等について指導する。 ・　行事の目的を生徒に理解させるとともに、いろいろな役割を分担させるなど、使命感や責任感の重要性を自覚させるよう指導する。 ・　他の学年と連携を回り、生徒一人一人がスムーズな設営のため、協力して作業を行うよう指導する。 ・　最初と最後のクラスの教名の生徒が授与の練習を行うが、すべての生徒が理解するよう指導する。 ・　歌唱指導担当教諭との連携を回る。 ・　卒業式の全体進行や礼法指導の再確認を行う。 ・　卒業アルバムを配布する。 ・　当日の交通安全について注意を促す。	【関心・意欲・態度】の評価規準 卒業式に関心を持ち、自分の役割や分担を責任を果たしながら、卒業式に積極的に取り組もうとする。 【関心・意欲・態度】の評価規準 卒業式にふさわしい態度で予行に積極的に取り組もうとする。 【知識・理解】の評価規準 礼法の重要性を認識するとともに、卒業式における礼法が式の厳粛な雰囲気を保つことに役立つことを理解する。 評価方法はすべて観察法とする
当日	・　登校　（保護者等受付） ・　ホームルームでの出席確認及び　事前指導 ・　入場 ・　卒業式 （１）開式の辞 （２）国歌斉唱 （４）学事報告 （５）卒業証書授与 （６）賞状授与 （７）校長式辞 （８）祝辞・複文・祝電披露 （９）記念品披露 （10）送辞 （11）答辞 （12）国家斉唱 （13）閉式の辞 ・退場・ホームルーム・見送り	・　服装等の指導をする。 ・　着席時の姿勢や斉唱時の姿勢及び賞状授与の際の動き等について最終確認を行う。 ・　ブラスバンドの演奏（BGM）に合わせて、さわやかに入場する。 ※　在校生への指導 ・本校の伝統を引き継ぐ者としての自覚を促し、厳粛な雰囲気を乱すことなく、参加するよう指導する。 ※　危機管理上の留意点 ・　生徒入場後に、警備担当者が各教室を施錠する。 ・　不害者の侵入に備え、校内及び校外を巡回する。 ・　生徒下校時等の不宿車による暴走行為などに備え、警察と連携する。	【関心・意欲・態度】の評価規準 卒業式にふさわしい態度で取り組もうとする。 【技能・表現】の評価規準 卒業式の意義を理解し、正しい礼法で授与を受ける技能などを身に付けている。
事後	・アンケート集計・反省会議	〔事業評価としてのアンケートの活用　〕	

(2)「学芸的行事」に関する指導・評価計画を文化祭を通して考える

行　事　名　　｜　文化祭			
1　行事の目標			
文化祭への取組を通して一人一人の生徒の個性を伸ばし、自主性、創造性を高めるとともに、成就感や造帯感を味わわせ、責任感と協力の態度を養う。			
H　到達目標			
1　創意工夫を生かした学習活動の成果を発表することにより、生徒に自己の存在感を実感させるとともに、相互に協力し合う活動を通じて互いの存在を認め合うなど、豊かな心を育成する。 2　活動を通して、生徒がそれぞれの自己の成長の跡を振り返り、さらに自己を一層伸長させようとする意欲を向上させる。			
Ⅲ　担当分掌及び全体計画			
1　担当分掌　生徒会指導部　　生徒会執行部及び代議委員会の指導は生徒会指導部が行う。 HR 指導は各担任が行う。 各パートの指導については、生徒会指導部が各分掌担当へ協力を依頼して行う。 2　業務推進計画　・　４月　下旬　　実施内容について生徒会執行部による原案審議 ・　５月　上旬　　代議委員会にて検討、職員会議（実施内容の決定） ・　５月　中旬　　各ホームルームでの発表内容に係る希望調査の実施・集約 ・　５月　下旬　　各ホームルームでの発表内容の決定 ・　６月　上旬　　各パートの係分担の決定 ・　６月　下旬　　保護者、地域へ案内等の発送、審査員等の依頼 ・　７月　中旬　　文化祭実施、事後指導（後かたづけ、清掃など）			
Ⅳ　展開			
	内　　容	指導上の配慮事項等	評価に関する配慮事項等
事前	・文化祭の意義の理解 ア　校風を理解させ、それを尚める機会にする。 イ　各教科・科目などで修得した知識や技能を深めさせるともに、情操を豊かにする。 ウ　自主性、創造性を高める。成　就感や連帯感を培い、責任感と協力の態度を養う。 エ　発表する能力及び他者の発表等に対する望ましい鑑賞態度を育成する。 オ　生徒の学習活動の成果を学校の内外で発表することにより、家庭や地域との交流を深め、学校への理解と協力を得る機会とする。 ・　テーマの設定 ・　全体計画の立案　各パートの内容決定及び役割分担 ▪　取組状況の公表	テーマの設定については、文化祭の意義が集約されたものとなるよう指導する。 ▪　全体計画は、文化祭の意義を踏まえ、すべての生徒が参加・協力できるよう指導する。 ▪　ホームルーム及びパートの取組状況について、全校へ情報提供し、生徒の活動意欲を高める。 ▪　文化祭の準備について、計画的に進めるとともに、下校時刻の厳守や後片付けの徹底を指導する。また、学校通信等により、保護者に生徒の下校時刻を周知する。	【関心・意欲・態度】の評価規準 文化祭に関心を持ち、自分の責任を自覚し　て、準備に取り組もうとする。 【思考・判断】の評価規準 ホームルームやパートなど、各活動に関する情報を幅広く収集するとともに、より充実した内容となるような工夫について考え、判断している。 【技能・表現】の評価規準 活動の構想や創作において、共同して作業を進めるとともに、自分の考えを積極的に伝える技能などを身に付けている。 【知識・理解】の評価規準 文化祭の意義や自己の役割を認識するとともに、活動の取組や発表の仕方などの工夫が高校生活の充実に結びつくことを理解する。
当日	・開会式 ・　ステージ発表 校内公開・ クラスパフオーマンス　クラス展示、チヤリティバザー　部活動展示 一般公開 ・　クラスパフオーマンス　クラス展示、 ▪　合唱コンクール ▪　閉会式	・　発表者と聴衆が一体感を持ってステージ発表を楽しむことができるよう、鑑賞マナー等について指導する。 ▪　ステージ発表については、地域の方々へ教育活動を公開する絶好の機会であることを自覚させる。 ▪　審査結果の発表において、一人一人の生徒の努力を率直に称え合えるよう指導を行う。 ▪　終了後の反省については中学生らしい行動と保護者の協力をおねがいする。 ▪　下校時刻を厳守させ、深夜徘徊等の防止に向け指導する。また、警察や保護者等とも連携して、下校後のパトロールを実施する。	【関心・意欲・態度】の評価規準 各自の役割を責任をもって果たしながら、文化祭当日の活動に積極的に参加しようとする意識をもつとともに、各自の活動に他の生徒と協力して取り組もうとする。 【思考・判断】の評価規準 活動に意欲をもって取り組むとともに、鑑賞する立場に立った望ましい態度について考え、判断している。 【技能・表現】の評価規準 活動の内容が日常の教育活動の成果と密接に結びつくとともに、鑑賞者が各発表に感動するような表現の技能を身に付けている。 【知識・理解】の評価規準 活動が文化祭の意義を踏まえた内容となるとともに、活動によって協譜比が醸成できることを理解する。　　評 価方法はすべて観察法とする
事後	・　後片付け、清掃 ・　事後アンケート ・アンケートの分析・反省会議	・　後片付けや清掃を徹底し、校内の美化を指導する。 ・　文化祭で培った成就感や連帯感を、今後の学校生活に生かすことができるよう指導する。 ・　各自が事前・当日・事後の活動を振り返り、自己評価ができるよう、アンケートを実施する。 ・　生徒会執行部がアンケートの分析を行い、成果と課題をまとめるとともに、次年度の文化祭へ引き継ぐよう指導する。	【関心・意欲・態度】の評価規準 後片付けや清掃を積極的かつ協力的に行うとともに、文化祭の活動を通じて学んだことを日常の学校生活の改善に生かそうと取り組もうとする。 【思考・判断】の評価規準 日常の教育活動の成果を発揮するとともに、活動が自己及びホームルーム等の集団の成長に結びつくことについて深く考え、判断している。

(3)　「健康安全・体育的行事」に関する指導・評価計画を球技大を例に

行　事　名　｜　校内球技大会			
１　行事の目標			
球技を通じて運動に親しむ態度を育成するとともに、責任感や連帯感の涵養を図る。			
Ｈ　到達目標			
１　体力や気力の充実など、心身の健全な発達を図るとともに、運動に親しむ資質や能力を育て、生涯にわたって実践する習慣を　身に付ける。 ２　競争や共同を通して、公正に行動し、ルールを守りお互いに協力して責任を果九才など、社会生活に必要な態度を養う。			
Ⅲ　担当分掌及び全体計画			
１　担当分掌　　主担当は生徒会指導部とするが、保健体有料教諭及び該当種目卸活動顧問等の協力のもと行う。 ２　業務推進計画 ・　６月　下旬　　原案ホームルーム審議、代議委員会で検討、職員会議で検討し決定 ・　７月　上旬　　各ホームルームで種目別出場選手の決定、選手名簿提出 ・　８月　下旬　　選手名簿完成、職員会議で細案の検討 ・　９月　上旬　　詳細についてホームルームで検討 ・　９月　下旬　　球技大会　１目目　開会式、ホームルーム対抗競技会（グランド）開会式 ・　終了後　　ホームルームにおいて反省、職員用アンケートの実施、学校評議員からの報告（生徒の様子を見ての感想等）			
Ⅳ　展開			
	内　　容	指導上の配慮事項等	評価に関する配慮事項等
事前	・原案作成 ・生徒会役員による内容検討・体育委員を中心とした実行委員会の編成・生徒会指導部案作成 ・ホームルーム討議 ・　原案審議・種目別出場選手の選考 ・　自主練習の注意事項指導 ・公開抽選会・係生徒（関係卸活動部員）説明　会	※　生徒会執行部及び実行委員への指導 ・　この行事のねらいを明確にする。 ・　前年度の反省を踏まえ、実施種目の見直し、試合時間等を考慮した目程の設定について指導する。 ・　公平な抽選を行う。 ・　球技大会の意義を確認させるとともに、公平に選手の選考が行えるよう指導する。 ・　自主練習が加熱しすぎることのないよう指導する。 ※保護者に案内を出し、終了後に意見感想をいただくことを依頼する。	【関心・意欲・態度】の評価規準 原案審議や選手選考に積極的に関わるなど、意欲的に取り組もうとする。 評価方法は観察法による
当日	開会式、準備体操 ・　サッカー２回戦まで 男女バスケットボール予選から決勝まで 開会式、表彰	・　フェアプレーの精神で参加するとともに、マ　ナーを守って応援するよう指導する。 ・　出場予定時刻を確認するとともに、競技開始　前の準備運動を入念に行うよう指導する。 ・　無断で校地の外に出ないこと、貴重品の管理などについて指導を徹底する。 ※　生徒会執行部及び実行委員への指導 ・開会式の挨拶を工夫するなど、全校生徒の気持ちを盛り上げ、一人一人の生徒が積極的に取り組むよう指導する。 ※　生徒への指導 ・公正な計測及び審判を行う。 ・球技大会特別ルールを十分に把握する。 ・備品の管理を徹底する。	【技能・表現】の評価規準 試合を楽しむとともに、自他の安全の確保や規律ある集団行動をとれる技能を身に付けている。 【思考・判断】の評価規準 スポーツに親しむとともに、自己の記録やチームの成績向上のために必要な技術について考え、判断している。 【知識・理解】の評価規準 競技のルールを理解する。 評価方法は観察法による
事後	・アンケート実施 ・　一般生徒用（ホームルームで集約） 生徒会役員等用 保護者用・教員用	・　健康で安全な生活の実現に努めようとするとともに、公正に行動する重要性について理解するよう指導する。 ・　次年度の改善につながるアンケート回答となるよう指導する。 ※　生徒会執行部及び実行委員への指導	【関心・意欲・態度】の評価規準 自分の取組について真摯に振り返り、健康で安全な生活の実現に取り組もうとする。